

2010 年度 第 1 期 **子宮頸がん**  
第 2 回 子宮頸がんの原因ウイルスとワクチン  
産婦人科 石田大助

2010 年 6 月 23 日発行

1. 子宮頸がんの原因は？

近年、ヒトパピローマウイルス（HPV）の子宮頸部への感染が、子宮頸がんの原因となることが明らかになりました。（図 1）

HPV にはたくさんの種類があることが知られています。ヒトに感染するものは約 100 種類、そのうち性交渉によって感染するものが 30-40 種類あります。そのなかで 15 種類が子宮頸がんを引き起こす可能性があり、それらは発がん性 HPV（ハイリスク型 HPV）と呼ばれます。発がん性 HPV のなかで、HPV 16 型、HPV 18 型の 2 種類が、子宮頸がんに関わる頻度が高いことが分かっています。

日本では子宮頸がんの約 6 割、全世界では約 7 割に HPV 16 型、18 型のいずれかが関わっているとされています。

2. 発がん性 HPV にかかることは珍しいことでしょうか？

決して珍しいことではありません。

発がん性 HPV はありふれたウイルスであり、性交渉の経験のある婦人の約 80% は感染の経験をもつといわれています。

子宮頸がんの主な原因は  
発がん性ヒトパピローマウイルス(HPV)です。

図 1

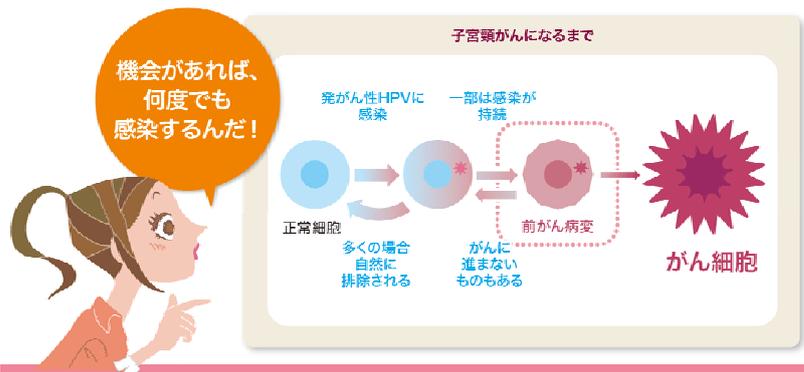


Okuni et al.: Cancer Sci 100(7) 1312-1316, 2009

発がん性HPVの感染が長く続くと  
がんになることがあります。

図 2

- 発がん性HPVは感染してもほとんどが自然に排除されますが、**感染が長く続くとがんになることがあります。**
- 発がん性HPVは、機会があれば**何度でも感染**します。



### 3. 発がん性 HPV に感染すると必ず子宮頸がんになってしまうのでしょうか？

感染したすべての方が子宮頸がんになるわけではありません。なぜなら発がん性 HPV は感染しても、ほとんどが自然に排除されてしまうからです。しかし、一部に排除されずに持続的に感染しつづける場合があります。それが数年から数十年かけてゆっくりと、子宮頸部の細胞を正常な状態から前がん状態を経て、がん細胞に変えてしまうのです。発がん性 HPV に感染した人の約 0.15% が子宮頸がんを発症するといわれています。(図 2、前ページ)

### 4. ウィルス感染が原因ならば子宮頸がんは、インフルエンザのようにワクチンで予防できるのでしょうか？

2009 年末から、日本でも HPV16 型、18 型に対するワクチン接種が可能となりました。HPV16 型、18 型の感染を高い確率で予防することが確認されています。つまり、HPV16 型と 18 型の感染が原因の子宮頸がんの発症を高い確率で予防できると考えられます。しかしながらその 2 つの型以外の発がん性 HPV 感染を予防できるわけではないので、子宮頸がんを完全に予防できるわけではありません。そのためワクチン接種をしても、定期的な子宮がん検診をうけていただく必要があります。

### 5. 何歳くらいでワクチン接種をうけるのがよいのでしょうか？

性交渉を経験する前、つまり HPV 感染の危険にさらされる前に接種をうけることが理想的と考えられ、11～14 歳での接種が勧められています。すでに欧米の十数カ国では数年前から、11～14 歳の女子へ公費での予防接種がおこなわれています。日本でも、新潟県魚沼市、茨城県志木市などで同様の年齢での公費接種が始まりました。

15 歳から 45 歳の年齢の方にも、HPV 再感染の予防をとおしてある程度の効果が期待され、接種が勧められます。

### 6. 名古屋掖済会病院でも HPV ワクチン接種が可能？

可能です。

中学生（～15 歳まで）の方は当院小児科で、それ以上の方は当院産婦人科でワクチン接種をおこなっております。ワクチン接種は初回、1 か月後、6 か月後の 3 回必要です。費用や予約方法、そのほかご不明な点は小児科、または産婦人科にお問い合わせください。

予防ワクチンの効果を十分に得るには 3 回の接種が必要です。

図 3

- 3回接種しないと十分な予防効果が得られません。
- 3回の接種の途中で妊娠した場合には、接種は継続できません。その後の接種について先生にご相談ください。



3回接種することが重要なんだ！

次回 第3回 子宮頸がんの低年齢化について

産婦人科 三澤 俊哉 先生

2010年7月9日配付予定

この内容は、名古屋掖済会病院ホームページでもご覧頂けます。

えきさいかい

Click

名古屋掖済会病院は、愛知県「がん診療連携拠点病院」の指定を受けました。